

学科名	コース・専攻名	修業年限	定員	総定員	入学者数	在籍者数
看護学科		4年	80名	320名	79名	284名

■カリキュラム、時間割、使用する教材などの授業方法及び内容、年間の授業計画

・カリキュラム

学年	基礎分野	専門基礎分野	専門分野Ⅰ	専門分野Ⅱ	統合分野
1年次	教育心理学/教育原理/教育方法論/情報科学概論/倫理学/コミュニケーショントレーニングⅠ/手話講座/家族社会学/論理的思考の基礎/法学概論	人体の構造学Ⅰ・Ⅱ/人体の機能学Ⅰ・Ⅱ/臨床生化学/健康科学概論/感染防御学/病理学/疾病治療学Ⅰ	基礎看護学概論Ⅰ/基礎看護学概論Ⅱ/基礎看護技術論Ⅰ/基礎看護技術論Ⅱ/基礎看護方法論Ⅰ/基礎看護方法論Ⅱ/基礎看護方法論Ⅲ/臨床援助技術論Ⅰ/臨床援助技術論Ⅲ/基礎看護学Ⅰ実習(対象理解)	成人看護学概論/老年看護学概論/小児看護学概論/看護技術演習Ⅰ	看護技術演習Ⅰ
2年次	看護物理学/コンピュータ情報処理演習/コミュニケーショントレーニングⅡ	人体の構造学Ⅲ(演習)/臨床栄養学/臨床栄養学/臨床栄養学/疾病治療学Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ/リハビリテーション論/公衆衛生学/社会福祉・社会保障論	臨床援助技術論Ⅱ/臨床援助技術論Ⅳ/リフレクションⅠ/基礎看護学Ⅱ実習	成人看護方法論Ⅰ/成人看護方法論Ⅱ/成人看護方法論Ⅲ/老年看護方法論Ⅰ/老年看護方法論Ⅱ/小児看護方法論Ⅰ/小児看護方法論Ⅱ/母性看護学概論/母性看護方法論Ⅰ/精神看護学概論/成人看護学Ⅰ実習	在宅看護論概説/在宅看護方法論Ⅰ/救急蘇生法Ⅰ/看護技術演習Ⅱ
3年次	人間理解の基礎	臨床薬理学/看護と法律/保健指導論/看護疫学・保健統計		成人看護方法論Ⅳ/老年看護方法論Ⅲ/小児看護方法論Ⅲ/母性看護方法論Ⅱ/精神看護方法論Ⅰ/リフレクションⅡ/リフレクションⅢ/成人看護学Ⅱ実習/成人看護学Ⅲ実習/老年看護学Ⅱ実習/小児看護学実習/母性看護学実習	在宅看護方法論Ⅲ/地域看護学/看護研究Ⅰ(基礎)/救急蘇生法Ⅱ/看護技術演習Ⅲ/地域看護学実習
4年次	医療社会経済学/英語コミュニケーション/コミュニケーショントレーニングⅢ			精神看護方法論Ⅱ/精神看護方法論Ⅲ/リフレクションⅣ/老年看護学Ⅰ実習/精神看護学実習	在宅看護方法論Ⅱ/リフレクションⅤ/看護管理論/国際看護論/看護研究Ⅱ(実践)/看護の展望/救急蘇生法Ⅲ/災害看護論/看護技術演習Ⅳ/総合看護セミナーⅠ/総合看護セミナーⅡ

・時間割モデル

	月	火	水	木	金
1	臨床生化学	基礎看護学概論Ⅰ	論理的思考の基礎	人体の構造学Ⅰ	健康科学概論
2	手話講座	基礎看護学方法論Ⅰ	家族社会学	人体の機能学Ⅰ	成人看護学概論
3	基礎看護技術論Ⅱ	教育原理	コミュニケーショントレーニングⅠ	法学概論	臨床援助技術論Ⅲ
4	基礎看護学方法論Ⅱ	感染防御学		家族社会学	

・年間計画(学校行事・課外活動・企業連携・インターンシップ等)

	1年次	2年次	3年次	4年次	全体
4月	入学式				始業式/健康診断 新入生歓迎行事
5月		宣誓式		領域別実習開始 10月まで	
6月			領域別実習開始 3月まで		保護者会
7月	基礎看護学Ⅰ実習	基礎看護学Ⅱ実習			
8月					
9月					スポーツ大会
10月					後期始業式 穴吹祭
11月	解剖見学実習	解剖見学実習			優秀生海外研修
12月		文化研修			
1月	解剖見学実習	解剖見学実習			
2月		成人看護学Ⅰ実習		看護師国家試験	学内学術発表会
3月		海外医療研修		卒業式	

■進級・卒業の条件

・卒業条件

科目の区分		卒業要件(単位)
基礎分野	必修	19
	選択	0
専門基礎分野	必修	23
	選択	0
専門分野Ⅰ	必修	16
	選択	0
専門分野Ⅱ	必修	40
	選択	0
統合分野	必修	26
	選択	0
合計		124

■学習の成果として取得を目指す資格、合格を目指す検定等

■資格取得、検定試験合格等の実績

資格名	実績	合格者数	受験者数
看護師国家資格	91.4%	64	70

■入学者数、収容人数 在学学生数

学科名	コース・専攻名	修業年限	定員	総定員	入学者数	在籍者数
歯科衛生学科		3年	40名	120名	25名	70名

■カリキュラム・時間割・年間の授業計画

●カリキュラム

学年	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	選択必須分野
1年次	生物学/人間関係論/ビジネス実務	解剖学/生化学/生理学/組織発生学/口腔解剖学/口腔生理学/病理学/口腔病理学/薬理学/微生物学/口腔衛生学/衛生学・公衆衛生学	歯科衛生学総論/歯科臨床概論/歯周病予防法/齲蝕予防法/歯科保健指導論/歯科診療補助論/臨床実習	特別活動
2年次	情報処理/ビジネス実務/国際歯科衛生士学		歯科保存学/歯周療法学/歯科補綴学/口腔外科学・麻酔学/小児歯科学/歯科放射線学/歯科矯正学/障害者歯科学/高齢者歯科学/歯周病予防法/歯科保健指導論/歯科診療補助論/臨床実習・臨床実習	医学基礎/特別活動
3年次	情報処理	栄養学/衛生行政・社会福祉論	歯科衛生学総論/歯周病予防法/歯科保健指導論/臨床実習・臨床実習	卒業研究/国家試験対策

●時間割モデル

	月	火	水	木	金
1	口腔解剖学	人間関係論	口腔衛生学	特別活動	解剖学
2	口腔解剖学	人間関係論	生理学	生物学	病理学
3	歯科衛生学総論	口腔生理学	う蝕予防法	歯科診療補助論	歯周病予防法
4			う蝕予防法	歯科診療補助論	歯周病予防法

●年間計画(学校行事・課外活動・企業連携・インターンシップ等)

	1年次	2年次	3年次	全体
4月	入学式		歯科医院実習	始業式/健康診断 新入生歓迎行事
5月				
6月	保育園実習	小学校保健指導実習		保護者会
7月	見学実習	模擬患者実習 I	模擬患者実習 II	
8月				
9月			岡大実習(チーム医療)	スポーツ大会
10月		戴帽式/ 岡大実習(臨床)/ 歯科医院実習		後期始業式 穴吹祭
11月			歯科衛生過程 実践実習	優秀生海外研修
12月		文化研修	特別支援学校実習	
1月		解剖見学実習		
2月	特別講義	特別講義	解剖見学実習	
3月		海外医療研修	歯科衛生士 国家試験/卒業式	

■卒業の条件

科目の区分		卒業要件(単位)
基礎分野	必修	10
	選択	0
専門基礎分野	必修	25
	選択	0
専門分野	必修	59
	選択	0
選択必須分野	必修	7
	選択	0
合計		101

■資格取得実績

資格名	実績	合格者数	受験者数
歯科衛生士国家資格	95.4%	21	22

入学者数、収容定員、在学学生数

学科名	コース・専攻名	年限	定員	総定員	入学者数	在籍者数
病院事務・診療情報学科		3年	40名	40名	0	4

■カリキュラム、時間割、使用する教材など授業方法及び内容、年間の授業計画

・カリキュラム

	専門科目	一般科目
1年次	医療概論／人体構造・機能論／臨床医学総論（先天性疾患・外因性疾患等含）／医療事務（医科）Ⅰ／医療関連法規	メディカルマナー／Word実習／Excel実習／簿記／計算実務／プレゼン演習／体育
2年次	臨床医学各論Ⅰ（感染症及び寄生虫症）／臨床医学各論Ⅱ（新生物）／臨床医学各論Ⅲ（血液・代謝・内分泌等）／臨床医学各論Ⅳ（精神・脳神経・感覚器等）／臨床医学各論Ⅴ（呼吸・循環系）／臨床医学各論Ⅵ（消化器・泌尿器系）／臨床医学各論Ⅶ（周産期系）／臨床医学各論Ⅷ（皮膚・筋骨格系）／医学用語／医療管理総論／医療管理各論Ⅰ／医療管理各論Ⅱ／医療管理各論Ⅲ／医療情報学／医療統計学Ⅰ／医療統計学Ⅱ／診療情報管理論Ⅰ／診療情報管理論Ⅱ／診療情報管理論Ⅲ／国際疾病分類概論／分類法演習Ⅰ／医療事務（医科）Ⅱ／医療コンピュータ実習／介護保険事務Ⅰ／介護保険事務Ⅱ／コンピュータ概論／情報演習／病院実習Ⅰ	社会人基礎講座Ⅰ／PowerPoint実習
3年次	分類法演習Ⅱ／電子カルテ実習／病院管理学／診療情報管理士受験対策講座／病院実習Ⅱ	コンピュータ実習／Access実習／社会人基礎講座Ⅱ／卒業研究

・時間割モデル

	月	火	水	木	金
1	Access実習	分類法演習Ⅱ	社会人基礎講座Ⅱ	診管対策	診管対策
2	電子カルテ実習	分類法演習Ⅱ	診管対策	分類法演習Ⅱ	コンピュータ実習
3	卒業研究				

・年間計画（学校行事や課外活動・企業連携・インターンシップなど）

4月	入学式（1年次） 始業式（2、3年次）新入生歓迎行事（全学年）				
5月					
6月					
7月	防犯講話（1年次）	就職研修	前期末試験		
8月	病院実習Ⅱ（3年次）公開講座		夏休み		
9月	スポーツ大会（全学年）				
10月	後期始業式（全学年）	避難訓練	学園祭（全学年）		
11月	高松マイロード（全学年）				
12月	冬休み				
1月	後期末試験（全学年）				
2月	学内学術大会（3年次）病院実習Ⅰ（2年次）就職講演会（2年次）後期終業式（1、2年次）				
3月	卒業式（3年次） 春休み				

■進級・卒業の条件

・卒業条件

科目の区分		卒業要件
専門科目	必修	1650
	選択	
一般科目	必修	780
	選択	
合計		2430

■学習の成果としての取得を目指す□、合格を目指す検定等

■資格取得、検定試験合格等の実績

資格名	実績	合格者数	受験者数
医事コンピュータ技能検定試験2級	100%	4	4
情報検定(J検) 情報活用試験 1級	75%	3	4
診療報酬請求事務能力認定試験	50%	2	4
診療情報管理士認定試験	100%	4	4

入学者数、収容定員、在学学生数

学科名	コース・専攻名	年限	定員	総定員	入学者数	在籍者数
医療事務・ドクター秘書学科		2年	30名	60名	21	41

■カリキュラム、時間割、使用する教材など授業方法及び内容、年間の授業計画

・カリキュラム

	専門科目	一般科目
1年次	医療事務（医科）Ⅰ／介護保険事務／調剤報酬請求事務Ⅰ／医療関連法規／医療事務（歯科）Ⅰ／医療秘書／医師事務作業補助実務Ⅰ／医療概論／人体構造・機能論／医療機関実習Ⅰ	メディカルマナーⅠ／簿記／コンピュータ演習／コミュニケーショントレーニング／体育／社会人基礎講座Ⅰ
2年次	医療事務（歯科）Ⅱ／医師事務作業補助実務Ⅱ／調剤報酬請求事務Ⅱ／医療コンピュータ演習Ⅰ／介護保険コンピュータ演習／病院管理学／医学・医療用語／医療コンピュータ演習Ⅱ／歯科助手演習／調剤報酬請求事務Ⅲ／臨床医学総論／医療管理総論／医療管理各論Ⅰ／職業体験実習Ⅰ／医療事務総論／電子カルテ演習／臨床医学各論Ⅰ／医療管理各論Ⅱ／保健医療情報学／医療統計学Ⅰ／診療情報管理Ⅲ／職業体験実習Ⅱ／医療機関実習Ⅱ	メディカルマナーⅡ／プレゼン演習／手話／社会人基礎講座Ⅱ／社会人基礎講座Ⅲ／研究課題演習Ⅰ／研究課題演習Ⅱ

・時間割モデル

	月	火	水	木	金
1	医療事務（医科）Ⅰ	医療関連法規	簿記	メディカルマナーⅠ	医療事務（医科）Ⅰ
2	メディカルマナーⅠ	介護保険事務	コンピュータ演習	簿記	コンピュータ実習
3	体育	コミュニケーション	医療事務（医科）Ⅰ	介護保険事務	

・年間計画（学校行事や課外活動・企業連携・インターンシップなど）

4月	入学式（1年次）	始業式（2年次）	新入生歓迎行事（全学年）		
5月					
6月					
7月	防犯講話（1年次）	就職研修	前期末試験		
8月	公開講座	夏休み	医療機関実習Ⅱ（2年次）		
9月	スポーツ大会（全学年）				
10月	後期始業式（全学年）	避難訓練	学園祭（全学年）		
11月	高松マイロード（全学年）				
12月	冬休み				
1月	後期末試験（全学年）				
2月	学内学術大会（2年次）	医療機関実習Ⅰ（1年次）	就職講演会（1年次）	後期終業式（1年次）	
3月	卒業式（2年次）	春休み			

■進級・卒業の条件

・卒業条件

科目の区分		卒業要件
専門科目	必修	802
	選択	282
一般科目	必修	510
	選択	120
合計		1714

■学習の成果としての取得を目指す□、合格を目指す検定等

■資格取得、検定試験合格等の実績

資格名	実績	合格者数	受験者数
医療事務技能審査試験（医科）	100%	20	20
医療事務時業審査試験（歯科）	93%	14	15
介護事務管理士技能認定試験	100%	43	43
医事コンピュータ技能検定試験3級	100%	23	23
医師事務作業補助技能認定試験	83%	15	18
医療秘書技能検定3級	100%	20	20

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

**【学生便覧より抜粋】**

(看護学科)

生命の尊厳と生活者としての個人の人格尊重を基本とした倫理観を身につけ、看護の専門知識と技術を備え科学的根拠に基づいた看護実践力を有する感性豊かな看護職として、校訓「日々是前進」の精神で地域社会の保健医療福祉の発展に貢献し続ける人材を養成する。

(歯科衛生学科)

歯科の幅広い知識と確かな技術を培い、歯周治療における高い予防処置技術を身につけ、命の大切さとホスピタリティーの心をもった将来のチーム医療を担う歯科衛生のプロフェッショナルを養成する。

(医療事務・ドクター秘書学科)

医療と福祉の全ての施設で働けるように「医科」「歯科」「調剤」「介護」「ドクター秘書」の5つの事務をこなせる人材を養成する。そのために、日本の保険制度の全体像と各種保険制度の知識から診療報酬請求事務知識とパソコン技能、さらには患者や入所者との接遇などの現場対応力を身につける。入職後も校訓「日々是前進」の精神で変化する社会に対応して自ら学び続ける人材を養成する。

(診療情報管理士専攻学科)

「診療情報管理士」と「病院事務」の二つの事務職をこなせる人材を養成する。そのために、診療情報管理士としては、香川県で唯一である日本病院会の診療情報管理士養成認定校のカリキュラムで学ぶことを通して、人体の構造と機能から疾病の分類や情報の管理・活用、さらには診療報酬の知識を身につける。また、病院事務として、会計事務や各種保険制度の知識から設備管理や物品購入等までの業務知識までを身につけ、病院全体の事務部門を担う人材を養成する。入職後も校訓「日々是前進」の精神で変化する社会に対応して自ら学び続ける人材を養成する。

(卒業)

原則として修業年限内に履修すべき全科目の単位を認定されている者に対し、校長は卒業を認定する

- 2 当該学年における欠席時間数が、出席すべき時間数の5分の1以上欠席した者は卒業できない
- 3 相当の事由がある場合で、卒業判定会議において認められたとき卒業する